

運転上の注意事項

- 車高 3 m 2 2 c m
(起振室ドアOPEN時は+約50 c m)
- 総重量 6.8 t
(運転資格に注意のこと。)
- アイドリングストップ機能付き
(チェンジレバー「D」の位置でブレーキを踏み続けるとエンジンをストップする。)



起震室 (振動台)

操作室

ステージ補助バー取付



地震体験室のモニターTVは、地震体験のほか、DVD、地デジ放送、外部パソコン画面を映すことができる。

起震室の奥の壁面に障害物センサがあり、検知すると振動を止めブザーが鳴る。

設営上の注意事項

- 水平な場所に設置する。
- 安全管理に配慮し、タイヤに輪止め、ドアミラーを格納し、周囲に三角コーンを置く。
混雑するときは整理誘導用チェーンを使用する。
- 土足禁止。階段前にスノコ板を敷く。
手すり等を清拭し感染予防対策を施す。
- 電子機器が積載されているため、雨天時は地震体験装置を使用できない。バッテリー式で排気ガスが出ないので、屋内では使用できる。
- 操作室やバッテリー室のドアを開けるときは、ドアの跳ね上げに注意する。
- 起震室のドアを開けた後、ステージ補助バーの取付を忘れないこと。
- 振動台の動力源は、積載されているリチウムイオン電池または200V商用電源を使用する。
リチウムイオン電池の充電は、走行充電（1時間で70～80%充電可）及び100V商用電源で行う。
【100Vケーブルで車両バッテリーとリチウムイオン電池の両方を充電できる。200Vケーブルでは充電できない】
災害時における電源車としても使用できる。
【100V出力コンセント4口】
- 振動台上のテーブルは床に固定されている。
地震体験時、テーブル下にシェイクアウトするときは、振動で頭部をぶつけないよう注意を促すこと。
撤収時は、机とイスをベルトでしっかり固定する。

起震室 (振動台)

定員4名、最大許容荷重280Kg

操作室

↓ TVアンテナ (受信感度がよい場所に取り付ける)



タッチパネル・非常停止ボタン

振動台の全ての操作はこのタッチパネルで行う。マグネットで固定してあり取り外しして使用できる。

①～⑤機器類の電源には触れないこと (常時ON)

← ① PC (システム全体を制御) 操作の必要はない

← ② Audio Selector TV Tuna 地震・DVD・TV等の切替

← ③ アンプ (音声の制御) マイク・ナレーション音量調整

← ④ インターフェイスユニット (地震装置を制御) 障害物センサー音の停止のみ操作

TV (地デジ) の受信時は、アンテナを接続すること。

マイク

1 ch ハンドマイク
2 ch ピンマイク
マイクの電源を入れると自動受信する。2つ同時には使用できない。



↑ ⑤ DVDプレイヤー

ブザー停止スイッチ

障害物センサが検知したブザーを停止する。

制御盤

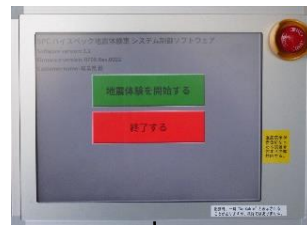


装置の電源ONから起震室ドアOPENまでは操作手順①～⑤の順序で行う。

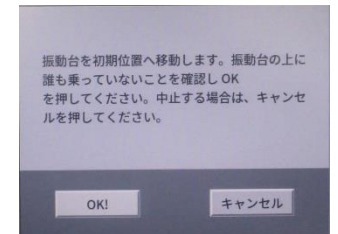
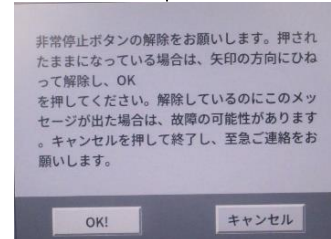
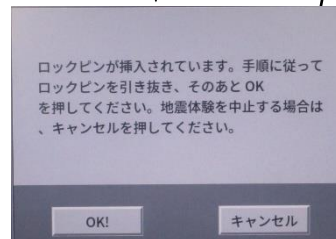
起震室ドア開閉と各室照明の電源は、車両のバッテリーから供給されている。ドア開閉を繰り返したり、照明の消し忘れによるバッテリーあがりによる注意のこと。

<タッチパネル> 体験準備の手順

非常停止ボタンを押してから「地震体験を開始する」をタッチ



ロックピンを挿し換えてOKをタッチ



<タッチパネル> 地震制御画面

複数を指定すると、上から順に実施する。

震度1~7の9種類。時間は最長で30秒まで。複数を指定すると下から順に実施する。

6か国語のスクリーン表示とナレーションを選ぶことができる。

地震体験を終了するとき

再現地震6種類

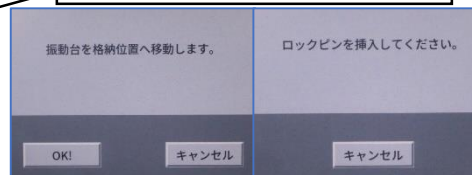
それぞれ60秒間で構成されている。地震の振動データを基に、ハイライトとなる部分から60秒分を選んでデータ化されている。時間を短く設定することができる。

想定地震8種類

それぞれ時間が異なる。

南海トラフ	60秒
揖斐川-武儀側断層帯	38秒
養老-桑名-四日市断層帯	39秒
長良川上流断層帯	33秒
屏風山-恵那山断層帯	57秒
阿寺断層帯	39秒
後津川断層帯	46秒
高山・大原断層帯	34秒

時間を短く設定することができる。



設定画面へ移行

(設定の変更や稼働記録の確認など)

各部の温度表示

システム起動後、正しい温度が表示されるまでは0°Cとなっているが、地震体験を行って差し支えない。各部の温度は、危険度に応じ[緑]→[黄]→[赤]→[黒]で表示され、[赤]になったら装置を休ませるなど対応をとる。([黒]になると強制停止して撤収作業もできなくなる。)

地震の強度設定

再現地震・想定地震では10~100%の範囲で地震の揺れを調整できる。高齢の方、小さい子に配慮する。

スタート&ストップ

スタートすると表示が赤になり「ストップ」ボタンに変わる。途中で止める時にタッチする。

地震の時間設定

体験時間を短くするよう調整できる。

障害物センサが検知して停止した場合の復旧方法

体験者に注意を促し、障害物がなくなったことを確認する。
体験者に振動台から一旦降りてもらう。
ブザー停止スイッチを押す。
画面表示に従って振動台位置の初期化を行う。
体験を続行する。



インターフェイスユニット
ブザー停止スイッチ

非常停止ボタンを押して停止した場合の復旧方法

体験者に振動台から一旦降りてもらう。
非常停止が必要となった原因を取り除く。
非常停止ボタンを矢印の方向にひねって解除する。
画面表示に従って振動台位置の初期化を行う。
体験を続行する。

<タッチパネル> 設定画面

【稼働記録】

累積の時間
と回数
(リセットされない)

それぞれ
メニューの
実行回数

(システムを起動する
毎にリセットされる)

稼働記録			振動台位置調整				
総稼働時間	0.03		▲ ▼				
地震実行回数	621		▲ ▼				
関東大震災	0	7	0	▲ ▼			
兵庫南部地震	0	6	強	0	▲ ▼		
新潟県中越地震	0	6	弱	0	▲ ▼		
東北地方太平洋沖地震	0	5	強	0	▲ ▼		
熊本地震	0	5	弱	0	▲ ▼		
北海道胆振東部地震	0	4	0	◀ ▶ ▲ ▼			
南海トラフ地震	0	3	0	◀ ▶ ▲ ▼			
揖斐川・武備川断層帯地震 (濃尾断層帯)	0	2	0	◀ ▶ ▲ ▼			
養老-桑名-四日市断層帯地震	0	1	0	▲ ▼			
長良川上流断層帯地震	0			▲ ▼			
屏風山-恵那山及び猿投山断層帯地震	0			▲ ▼			
阿寺断層帯地震	0			▲ ▼			
跡津川断層帯地震	0			▲ ▼			
高山・大原断層帯地震	0			▲ ▼			
格納位置へ			新規格納位置				
ガイド音声選択	男声1	男声2	男声3	なし	女声1	女声2	女声3
省略	緊急地震速報	体験は終わります	ログファイル書き出し	地震体験画面へ			

位置初期化
振動台を初期位置へ移動させ、
その後、昇降位置へ移動する。
(1分程度かかる)

体験終了後、格納位置がずれて ロックピンが挿せない場合

- ①「キャンセル」をタッチして地震制御画面に戻り「設定」を押して設定画面にする。
- ②「格納位置へ」をタッチして振動台の移動を試みる。これによりロックピンを挿入できるようになったときは、地震体験画面に戻り、終了作業を継続する。
- ③上記で、振動台の移動を試みてもロックピンが挿せない場合は、手動での修正を行う。
△▽をタッチして前後・左右・上下を調整し、ロックピンが挿せる位置をさがす。
- ④ずれが修正できたら、ロックピンを挿す前に「新規格納位置」をタッチして格納位置の更新「OK」をタッチする。
- ⑤地震体験画面に戻り、改めて「終了」を押して終了作業を継続し、ロックピンを挿す。

設定案内ガイドの音声を変える。
(地震ナレーション音声は変わらない)

最初に流れる緊急地震速報の音と映像を省略できる。

地震体験は終わります...のアナウンスを省略できる。

地震体験画面の表示に戻る。

省略したまま終了すると次回起動時と同じ設定で始まるので、設定を戻して終了すること。